

これまでに大脳皮質基底核変性症の治療を受けた患者さんへ 【過去のカルテ／レントゲン写真／検体の調査研究への使用のお願い】

鳥取大学医学部附属病院脳神経内科では「大脳皮質基底核変性症剖検例における臨床像の解明および臨床診断基準の妥当性検証～多施設共同研究～」という調査研究を行う予定です。この研究は、大脳皮質基底核の臨床症状や画像検査、検体について解析し、診断基準について検証することを主な目的としています。そのため、過去に大脳皮質基底核変性症の治療を受けた患者様のカルテ／レントゲン写真／検体（脳）を使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- 今回の調査研究は、平成18年4月1日から平成31年3月31日までに大脳皮質基底核変性症の治療を受けた患者さんのカルテ、レントゲン写真、検体（脳）が対象です。
- 過去のデータ／検体（脳）を使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、患者さんの負担並びにリスクはありません。また、患者さんへの直接的な利益もありませんが、研究の成果は、将来の大脳皮質基底核変性症の治療法の進歩に有益となる可能性があります。なお、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。また、研究で使用したカルテ／レントゲン写真／検体（脳）は、研究終了後、患者さんからの同意撤回がない限りは、半永久的に保存され、研究使用します。患者さんからの同意撤回の申し出があった場合には、カルテ／レントゲン写真／検体（脳）は速やかに廃棄します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。
- この調査研究は、鳥取大学医学部附属病院脳神経内科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
- この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究全体の成果につきましては、ご希望があればお知らせいたします。
- この調査研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会で審査され、医学部長の承認を受けて行われます。研究期間：平成29年1月～令和5年3月まで

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。また、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

鳥取大学 医学部附属病院 脳神経内科
研究責任者 花島 律子 TEL : 0859-38-6757

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願い致します。